

平成21年度採用(Ⅱ種化学) 所属:業務部 分析部門

1. 仕事(職場)について教えてください

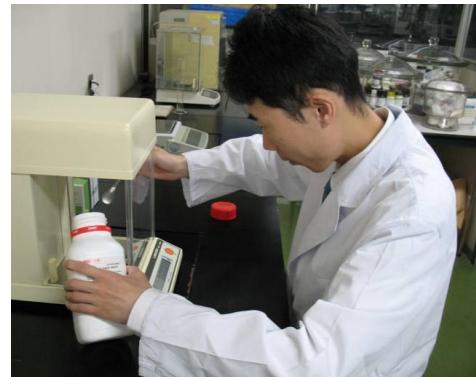
私は業務部統括分析官に所属しています。科学的な分析を主な業務としており、大きく分けて次の2つの業務を行います。

1つ目は、輸入申告等なされた貨物が申告どおりのものであるか分析する業務です。その理由は、貨物の種類や成分等によって関税の税率が異なる場合があり、成分等を分析してみないと正しく税金を徴収することができないためです。

2つ目は、海外からあらゆる形態で持ち込まれるもののが、不正薬物に該当するかどうか分析します。例えば、覚せい剤のようなものが国内に持ち込まれたとき、見た目だけで覚せい剤だと判断できません。それが間違いなく覚せい剤であると科学的に証明する必要があります。

2. 仕事の中で印象に残っていることは何ですか？

不正薬物を分析したことです。不正薬物か否か、不正薬物であればなにか、これらの判断が自分が行う分析によって決定されるため、責任は重大ですが、やりがいもあります。現場で自分が摘発するわけではないのですが、それが摘発に至るには分析が不可欠であり、自分も社会悪物品の国内流入の阻止に貢献できていると実感しました。



3. 今までどのような仕事をしてきましたか

通関や監視取締業務など、さまざまな業務の経験を経て、千葉県柏市に所在する関税中央分析所に出向しました。そこは税關ではできない高度な分析を引き受けたり、新しい税關分析法や取締機器の研究、開発を行ったりする機関です。税關から依頼を受けた分析の業務を通じて分析の手法を学んだほか、分析手法の研究も行いました。さらに、外国税關から税關分析を学びに来た研修生との交流もできました。そこでの経験はもちろんですが、通關部門など、分析部門に分析を依頼する部署での経験も分析を依頼する根拠などが分かり、現在の仕事に活きてています。

4. 税關の魅力、やりがいは何ですか？

業務内容が多種多様なところです。私は化学区分で採用されており、現在はそれにかかわる仕事をしていますが、それ以外の仕事を経験しています。学生時代の専攻にこだわらず、さまざまな業務を経験でき、それを通じて自分のやりたいことを見つけることができます。



5. 就職活動中のみなさんへのメッセージ

税關に理系分野の業務があることをご存知ない方も多いかと思います。分析業務のみならず、通關業務において化学物質や機械類の輸出入申告を審査する際にはそれぞれの専門知識を発揮することができるなど、理系の方の活躍できる分野があります。

自分の専門知識を発揮したいという方、専門分野にこだわらず多くの経験をしてみたい方、税關はいろいろな方が活躍できる職場です。